

京都府 女性コミサポ通信!

Vol. 1 1 ☆京都府男女共同参画センター らら京都発行

平成22年
10月26日版

女性コミサポ（コミュニティサポーター）とは、府民による自主的な地域づくりを意欲的に取り組む女性で、平成18年度より始まった「地域おこしセミナー」を修了した方に登録していただいています。

～コミュニティサポーターと活動の紹介をしていきます～

京丹波町和知 野間 渥子さん 自己紹介

平成10年4月から旧和知町（現在京丹波町和知）に道の駅「^{なごみ}和」に、
寿司類・漬け物・惣菜等を出品しています。



食工房「良」と名づけて朝4時起きでホコホコのご飯を炊いて元気で頑張れることに満足しています。
地域おこしセミナーに参加して意欲を出しています。

野間 渥さんの活動&PRは・・・

地元の食材でなるべく安心、おいしく、安くをモットーに毎日が勉強中です。
野菜はほとんど自家栽培で使用します。土・日曜日は仲間が助けに来てくれます。
山間ならではの美味しいお漬け物を出品しようと、只今4斗樽に仕込み中です。

6～9月道の駅では「鮎の塩焼き」が名物になります。

お越しの節は美味しいお寿司も食べていただきたいと思っています。

また、和知は府内でも指折りの過疎の地域ですが、住んでる者のココロの豊かさと明るさは食生活から来ているのではないだろうかと思います。

食生活改善推進委員協議会、女性の船、地域おこしセミナーにも参加させていただいたお蔭でたくさんの仲間を支えられています。お年寄りのお弁当、地域の行事のお弁当もひきうけて、田舎ならではの野菜いっぱいのお弁当は大変よろこばれています。

「おいしかったよ～！」の声をいただいた時は、自分の仕事の充実感に満たされます。

時の合間に「虹ノ会（老人家庭訪問）」に出向いたり、老人施設に清掃や声かけ、府の心の推進委員の勉強会にも参加したご縁で、現在、作業所にもお手伝いのボランティア活動を続けています。「地域の福祉は自分たちの手で」の基本をモットーに、朝元気に起床できれば「ありがとう」の感謝で私の活動が始まります。私は、「笑い」と「よく食べる」ことでも有名です。（内緒！）



裏面も御覧ください

—女性の力が 地域を元気にする—

京田辺市で「地域おこしセミナー」を開催しました！

平成22年
7月から9月の
3日間

第1回



大人も子どもも夢中にさせる

サンドアート！

同志社女子大学で子どもが楽しく遊べる環境を体験



第2回



生産農家さんに活きた食育を学びました。

女性の
パワーは
すごい！

みつけました！

ママ友たち（当事者）ががんばり出す。
そして行政や専門家の連携・協働が
地域づくりの
大きな力になる。

第3回

3人で5年前にスタートした「滋場」が行政との協働で京田辺市子育てひろば「てふてふ」に！



京田辺市子育てひろば
「てふてふ」を見学！！

子どもには遊び仲間を！
親には子育て仲間を！
誰でも来られるみんなのひろば

共育の街「松井山手」の駅前にある共育ステーション「つくるところ」を見学！！

坂本廣子さんもかかわっています。



第4回



同志社大学の
学食で
お楽しみの
ランチ

最後は、同志社大学ローム記念館で
ワークショップ！ 本格的な学生モード

“ひと”と“ひと”との様々な関係が地域をつくり、まちをつくる。

「関係づくり」をサポートすることによって、たくさんの「つくる」を実現する場所、それがつくるところ。

参加者の感想より

- ・井戸端子育て「ぬくぬくひろば（城陽市）」を続けるために資金ぐりをどうするか知恵をもらいたい。
- ・服が作れる特技でママ友仲間をつくりたい。「ちくちくサークル」をやっています。てふてふともつながりたい！